

Bamboo☆Revolution

7班 坂本千紘 芝崎鈴惺 酒井凱 二井銀之丞 二宮輝平 谷口郁真

課題設定の理由

- ・ 放置竹林が増えているため、竹の有効利用が必要
- ・ 犯土の日とそれ以外の日(間日)では竹の性質に違いがあるのか知る必要

犯土とは

その期間に木を伐採すると虫が入りやすく、腐りやすいと林業関係者の間で言われている日

仮説

犯土の木や竹が腐りやすい理由は・・・

- ① 間日と比べて抗菌殺菌活性が低い
- ② 間日より含水量が多い

検証① 抗菌殺菌活性

- ① 学校の敷地に生えている竹を間日や犯土に伐採
- ② 竹を粉末状にし、煮沸しろ過する(抽出液)
- ③ 寒天培地に抽出液2mlを注ぎ、10分間教室内で曝露
- ④ 菌のコロニーを数える



コロニーが1つも出来なかった・・・



結果

- ・ コロニーが1つもできなかったため、抗菌活性は測れなかった・・・
- ・ 大犯土の竹は他二つより水分を多く含んでいた

考察・感想

- ・ 含水量の変化は見られたため、竹の腐りやすさに関係している可能性がある
- ・ 抗菌実験は曝露する場所などを変えて、再度実験を行いたい
- ・ 犯土に関する文献は大変少なく、本当に木や竹の性質に関係があるのかもっと詳しく調べたい



検証② 含水量測定

- ① 学校の敷地に生えている竹を間日や犯土に伐採
- ② 1cm程の長さに切断し、竹の重さをはかる
- ③ 竹を乾燥させる
- ④ 竹の重さをはかり、減少した量を含水量とする



大犯土の竹は含水量が多い！！